

Design. Build. Scale AAV Discovery to Process Development

8月26日 14:00-16:30 (GMT+8)

📅 今すぐ登録

アデノ随伴ウイルス（AAV）は、遺伝子治療において、その安全性と長期的な遺伝子発現を支援する能力から広く利用されています。この機会に、ベクトルの発見やプラスミドの設計からプロセス開発まで、AAVの開発に関する統合的な洞察を得るためにご参加いただければ幸いです。

14:00-14:45

DNAからPCCまでのワンストップAAV薬物発見ソリューション

Cheng Luo, Director of Pharmacology Dept., ProBio

- プラスミド設計からAAVパッケージング、さらにはin vitroおよびin vivoアッセイまで
- GOIの検証：遺伝子導入効率、生物活性、安全性の評価
- 前臨床候補（PCC）スクリーニング



Cheng Luo
Director of Pharmacology Dept.,
ProBio

14:45-15:30

AAVプラスミド生産：主要な課題とコントロール戦略

Luffy Chen, Head of Plasmid PD and Production Dept., ProBio

- AAVプラスミド生産における主要な課題
- AAVプラスミド用の特許菌株を用いた堅牢なプロセス
- 業界のトレンド、課題、および機会に関する洞察



Luffy Chen
Head of Plasmid PD and Production
Dept., ProBio

15:30-16:15

AAVの概要と細胞遺伝子治療におけるソリューション

Xiyang Wang, Sr. Researcher, Viral Vector PD Dept., ProBio

- AAVの概要とCGTにおける応用
- AAVベクタープロセスの開発と生産における課題
- ProBioプロセスプラットフォームとケーススタディを用いた革新的なソリューション



Xiyang Wang
Sr. Researcher,
Viral Vector PD Dept., ProBio